

考えよう! 未来のために今できること



新潟市地球温暖化防止イメージキャラクター「とめドキくん」

今年3月、新潟市地球温暖化対策実行計画(地域推進版)第3期計画を策定しました。これは、温暖化の要因である二酸化炭素(CO₂)の排出量を2024年度までに30%削減(2013年度比)することを目指し、目標達成に向けた取り組み方針や基本対策を定めたものです。

温暖化の進行を食い止め、新潟の豊かな田園環境を次の世代に残すため、一人一人が今できることを考えてみませんか。

問 環境政策課(☎025-226-1357) ※関連記事を別冊情報ひろば1・2面に掲載

同計画は市ホームページに掲載しているほか、市政情報室(市役所本館)でも閲覧できます。



スマートフォンはこちらから

▼市ホームページから

地球温暖化対策実行計画

検索

教えて!

地球温暖化って何?

温暖化が進むとどうなる?

新潟市の年平均気温は直近の100年間で約1.4度上昇しました。桜の開花時期が早まり、以前はほとんどなかった猛暑日[※]が頻繁に観測されるなど、気候の変化が現れています。このまま対策が行われないと、**約80年後には年平均気温がさらに約5度上昇し、真夏日[※]は約50日、熱帯夜[※]は約60日も増加すると予測されているのです。**

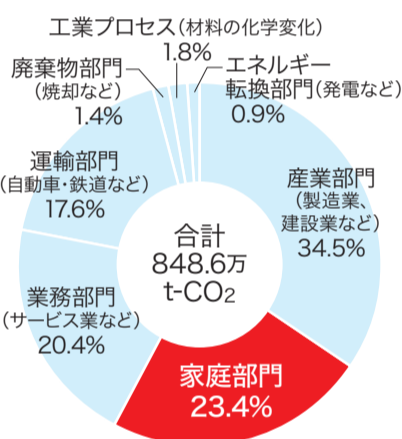
※猛暑日は最高気温35度以上、真夏日は最高気温30度以上、熱帯夜は夜間の最低気温25度以上の日

■新潟市の年平均気温(平年値)
現在 13.9度 → 2100年(予測) 18.4度
現在の鹿児島市(18.6度)とほぼ同じ気温に!
※出典:新潟地方気象台「新潟県の21世紀末の気候」

れが増え過ぎると宇宙への熱の放出を妨げ、気温を上昇させてしまうのです。新潟市で排出される温室効果ガスのほとんどはCO₂です。温暖化を防ぐためには、まずCO₂排出量を減らすことが重要だといえます。

CO₂の排出要因は?

■新潟市のCO₂排出量部門別割合(2013年度)



CO₂排出量の削減は、企業や一部の人の努力だけでは達成できません。次の世代に住みよい新潟の環境を残すためには、市民一人一人が温暖化を「自分ごと」として受け止め、周囲と連携・協力しながらCO₂の削減に取り組む必要があるのです。



同計画策定委員長 五十嵐 実さん

市内事業者の取り組み

環境に配慮した事業活動



青木環境事業株式会社 社長室ESG推進チームリーダー 松木 英典さん

当社は設立以来「環境保全への貢献」をテーマに、環境負荷の低減に向けた活動を行ってきました。私たちが事業を続けていくためには、限りある資源を有効活用し、環境に配慮した商品やサービスを提供していく必要があります。

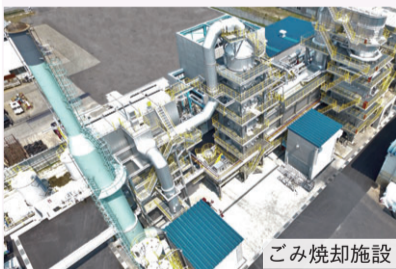
ごみ処理の分野では、焼却施設の熱を利用して発電した電気を当社の敷地内で活用しています。これにより、年間約3,500トンのCO₂排出量削減を目指しています。

また、水を電気分解して水素を製造・貯蔵し、工場内で稼働するフォークリフトの燃料として使用しています。その結果、有害な排気ガスの排出がなく

なり、職場環境の向上にもつながっています。

さらに、エネルギー循環の効果が目に見えて分かりやすくなり、環境意識の高い顧客の皆さんに、より安心していただけるようになったと思います。最先端の技術を取り入れたことで社員の意欲も高まるなど、さまざまな面で良い効果を感じています。

このほか、当社敷地内や遊休地への太陽光発電パネルの設置や、太陽光と風力を電源として災害時にも点灯できる街路灯の販売などの事業を推進しています。今後も、地球環境の向上や社会に貢献する取り組みを進めていきたいと考えています。



ごみ焼却施設



水素燃料フォークリフト